



《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区開原下川原町2-635
新潟県立新潟高等学校内
TEL 025-266-5268
FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

長谷川 義明

《印刷所》

株式会社第一印刷所
〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18
TEL 025-285-7161
FAX 025-282-1776

ご挨拶

青山同窓会会長

長谷川 義明 (61回)



今年の気候も不順な状況が続きました。春先に大変暖かい日が続いたと思いましたが、今度は5月末になっても大変寒い日が続きました。地球上のエネルギー消費やCO₂の発散などよりもっと大きな、宇宙の営みの僅かな変化が地球上に変化を与え、人類にとって大きな試練を与えているように思えます。

エネルギー消費の少なかった歴史的年代を遡る過去においても、大寒波や長雨、大干ばつなどによる災害があったようです

からこのような気候の変化に対処するのにもまた、その時代に生きる人々の知恵というものでしょう。

景気に回復の兆しが見えると嬉しい発表がされた後、またギリシャ問題など困難な課題が明らかになり、経済のグローバル化によるヨーロッパ経済の不安定化へとつながり、世界経済にも影響が出ております。わが国も膨大な国債の発行により要注目の国家経済の状況にあると指摘を受けており、国民経済の舵取りは重要な喫緊課題となっております。

今年の秋にはアジア太平洋地域21ヶ国の首脳が集まる経済協力会議(APEC)が横浜市を中心に開催され、新潟市でも食料安全保障担当大臣会合が開かれる予定となっております。

さに経済問題のみならず、環境、食料、インフルエンザに見られる疾病、科学技術、核問題などあらゆる分野の問題が国際的協力なくしては解決できない状況になって居ります。

一方では後発開発途上国(いわゆる最貧国)といわれる経済発展に苦勞している国々や国内の地域間格差問題、民族問題、内戦問題などを抱える国々もあり、これらに対しても国際的協力なくしては平和的解決への道は遠いといわねばなりません。

母校の現役たちは、まさにこれからのこのような国際的課題に向けてわが国の代表する人材として、気力体力を尽くして取り組んでもらわなければならぬ若者たちであります。幸い現在すでに現役高校生のグループでアメリカのシカゴ大学、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学などでの国際研修プログラムに参加する事業も進められているとの事、ホームステイも

◆ 青山学術文化講演会 ◆

主 催：青山同窓会

今年も新潟高校卒業生で、各界でご活躍の方々から講演をして頂きます。なかなか聞けない話ばかりと思います。ぜひこの機会に母校見学を兼ねましてお越し下さい。皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。

- 開催日 平成 22 年 11 月 20 日 (土) 午後 1 時 30 分～4 時
- 会 場 県立新潟高等学校 視聴覚ホール(案内板が出ています。駐車場はありません。)
- 定 員 400 人 (一般市民の方々にも聞いて頂きます)
- 参加費 無料
- 講演予定者
 - 大越健介さん (88 回)
NHKニュースウオッチ9キャスター
演題「ニュースの現場から」
「パラダイス鎖国」ともいわれる日本。何ごとも、ほどほどでよしとする空気が支配するこの国にあって、ニュースが伝えるべき真実とはなにか。新米キャスターの奮闘記。
 - 佐藤万成さん (91 回)
医師、新潟県元気大使
演題「青山発世界元気・健康」
新潟市西区青山で地域医療に従事する一方、「新潟県健康長寿日本一」をスローガンに活動。この度第2代新潟県元気大使に就任。「青山」から世界中に元気・健康を発信します。
- お申し込み方法
お名前・連絡先・参加人数を電話、FAX、メールにて、同窓会事務局までお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。
- お問い合わせ
青山同窓会事務局 電話・FAX 025-266-5268
E-mail niigata_aoyama@yahoo.co.jp

行われているとの事ですから若いうちから国際経験を積む良い機会となつていくことでしょう。各国の若者たちからも刺激を受ける良い機会となりましょう。同窓会としても、これからの日本を背負って立つ青山健児達の育成に大いに貢献して行きます。いものだと思えます。同窓会会員の皆様の一層のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

PTA 会長ご挨拶

五十嵐 実 (86回)



一方、「文」のほうでは、理数系では全国でも屈指の実績をあげており、今年度の進学においても新潟県の文字通りナンバーワン校の地位を確立しております。

同窓会会員の皆様、始めまして。このたび、平成22年度県立新潟高校PTA会長をおおせつかりました。不慣れなこともあり、至らぬこともあることとおもいますが、精一杯努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

さて、はじめから残念な話で恐縮ですが、本校野球部が春の甲子園選抜に惜しくももれたことが大きなニュースとなりました。初の甲子園ということで選手、在校生や保護者ともども応援に行けるのではないかと大変期待しておりましたが、実に惜しくも選考にもれたことは返す返すも残念です。皆様もさぞ落胆されたことと思います。

しかし、新潟高校は文武両道。その伝統はこれからも引き継がれ、いつかきつと甲子園にいくことを期待したいと思っております。

恒例の青山同窓会新年会が、2月17日(水)にホテルオークラ新潟で開催されました。母校野球部が春の選抜高校野球大会の21世紀枠での初出場の期待が高まる中での開催となりました。

平成22年青山同窓会新年会報告

渡辺 政次 (86回)

た。当日は120名の出席と例年通りの盛会となりました。新年会は小沢謙一君(93回)の司会で始まりまして。まず、長谷川同窓会会長がご挨拶され、結果的には選出されなかつ

な状況です。このような時代に必要なのは、優れた知力とそれを支える体力、そして協働して仕事に当たするためのコミュニケーション能力ではないかと思えます。この基礎を養うのがまさに高校時代ではないでしょうか。その意味で学生がよい環境で学び、部活に励み、友情を育むことが大切だと思います。

そのためには、PTAが教職員の皆様とそして同窓生の皆様のさまざまなお力を借りつつ、バックアップしてゆきたいと思えます。

青山同窓会の皆様におかれましても、現役生が充実した高校生活をおくり、また新たな伝統を作り上げていくべく、今後ともご助力、ご鞭撻賜りますようお願いいたします。



た21世紀枠での幻の甲子園初出場への思い、夏の大会へ実力での出場への期待などのお話がありました。次に大滝新潟高校校長より21世紀枠の発表の日までの校内の様子や母校の近況が報告されました。また、本年3月には、1年生を対象に第一線で活躍されている母校のOBを訪ねる研修を行い、国会議員の佐藤信秋氏(74回)、鷲尾栄一郎氏(103回)の案内による国会や議員会館の見学や、今年4月からNHKニュースウオッチ9のキャスターを務める大越健介氏(88回)の案内によるNHK放送センターの見学等を行い、自身の進路を身近に考えてもらう研修を行うこと等の報告がありました。

その後、長老の上村光司先輩(50回)のご発声により本多孝君(94回)が醸したフェルミエのワインで乾杯をしました。会は和やかな雰囲気ですすみ、瞬く間にお開きの時間となり、不肖小生(渡辺政次 86回)の音頭で「丈夫」を声高らかに斉唱し、風間士郎副会長が挨拶をされました。

東京青山同窓会 新人歓迎会講演会

校内幹事 横堀 真弓 (91回)



6月18日(金)ANAインターコンチネンタルホテル東京にて標記の会が開催されました。新潟からは、長谷川義明会長、戸松秀雄広報委員長、旧3年担任の峰本義明(88回)、立川純、横堀の計5名が参加しました。始めに、猪口孝東京青山同窓会会長より、厳しい社会を生きるのに必要な「たんぼぼな生き方」のお話をいただきました。来賓挨拶の後、斎藤俊正氏(72回)による講演「38年のパイロット人生で体感したこと」。自らの経験談を交え、自分の道が好きならば目標は達成できるとの励ましや、生きた情報を互いに取り入れる能力を培うことが大切との助言をいただき、新人の今後の、確かな指針となってくれました。新人コールの後、佐久間海土くんが返礼の辞を述べ、46回の富所強哉氏のご発声で初めての親交の場が始まりました。最後に、出席した新人43名が壇上に登り、校歌・丈夫を歌い終わって閉会となりました。

ヒールとネクタイの眩しい118回生達が、お仲間入りを果たした夜でした。

青山の歴史を語る

新潟高等学校は平成24年に創立120周年を迎えます。明治25年「新潟県尋常中学校」として創設され、幾多の人材を輩出して来ましたが、その間、多くの試練もありました。その中で、戦争と校舍焼失を取りあげ座談会を行いました。

戦時中の新潟中学校の様子

青山健児、瑞雲を侘れり

戦争中の学生達の生活はいかがであったのか。戦後65年、戦中、戦後を活躍されて来られた諸先輩にお集まり頂いて貴重なお話しをいただきました。
(平成22年5月19日青山同窓会事務室にて)

出席者紹介

- 上村光司さん(50回)
- 村島 滋さん(52回)
- 白井 勇さん(53回)
- 今湊良敬さん(55回)
- 伊佐 修さん(59回)
- 戸松 秀雄(67回)
- 石井 智裕(79回)
- 坂井奈津子(96回)

○上村

私は昭和13年入学だが勤労働員は高校(旧制)へ行つた18年以降となった。しかし在学中にも学校内に軍事的色彩が強くなってきた。本当に新潟中学校生徒の生活がひどくなったのは18年以降となる。

○今湊

昭和17年入学 勤労働員は新潟で港湾荷役が主体だった。

○伊佐

昭和20年入学、一学期のみで終戦となる。翌年から新潟高等学校併設新潟中学校となった。学校制の混乱で卒業は昭和26年になった。

○村島

昭和15年入学、5年生の夏名古屋の軍需工場に勤労働員となった。その前は勤労働員で新潟の港湾での荷役をしていた。

○白井

昭和16年入学 4年生のとき村島さんたち5年生と一緒に名

○司会
先輩方の戦争中の学校生活の様子をすべてお伝えするのは難しいと思いますが当時のご苦労を青山同窓会の記憶に留め後輩会員にお伝えしたいと思います。

古屋での勤労働員となった。

古屋では学生らしい勉強の思い出はこの名古屋での生活がほとんどで、人生のすべての期間を占めるほどの思い出が



17年入学組の地元での勤労働員は1年生のころからあった。3年のころはすでに名古屋の工場は空襲により焼失し新潟での勤労働員であった。この学年は4年の夏に終戦となり残り一年余の間新潟中学の歴史を新たに作るという思いから猛烈に勉強した。テストでは紙もなく先輩方の答案の裏に印刷してテストをした。上村さんの優秀な答案がいつばい出てきた(談笑)そのせいか官学に行った人も多く今でも各界で活躍している。

古く先生を交代させ人事滞留を改めるといふこともあるだろうが軍事教練に熱心でない先生を交代させる意味合いもあったかもしれない。これらのことで生徒が時の教頭を会議室に呼び出したという事件も起こった。でも不思議とお咎めはなかった。
○今湊
配属将校が人事の根回しをしていたのかもしれない。

ります。名古屋での食べ物話になりません(村島 同様にうなずく)。のみ、しらみと同居。食事は皿の上になにかへんまものを載せられそれを食べた。イナゴや腐ったバナナなども食べた。

○今湊

装行軍だった。しかし卒業しても陸士海兵等、軍関係に進む人は少なかった。

愛知航空機(株)で海軍の水上機「瑞雲」の製作にあたった。

○村島

○今湊

4年生5年生一緒に行き働いた。4年生は200人くらいだった。「彗星」「晴嵐」なども作っていた人もいた。

○上村

○上村

旧新潟市以外の地域の生徒は長岡などの民間工場に勤労働員に行つた。

○上村

○上村

生徒はずっと名古屋にいて先生は一ヶ月交代だった。授業はまったくなく勉強もできなかった。

○上村

○上村

私が入学した年から制服がカーキ色(軍国色)になった。夏冬同じ服となり以前より質素になった。在学中はずっとポロの制服を着ていた記憶がある。入学試験にも体操実技があり体のことも言われた。勤労働員のはしりもあり関屋掘割を埋め立て射撃場建設の仕事をやった。戦闘訓練や軍事行軍訓練などもあった。5年生は銃を担いで完全武

○上村

○上村

古く先生を交代させ人事滞留を改めるといふこともあるだろうが軍事教練に熱心でない先生を交代させる意味合いもあったかもしれない。これらのことで生徒が時の教頭を会議室に呼び出したという事件も起こった。でも不思議とお咎めはなかった。

○上村

○上村

配属将校が人事の根回しをしていたのかもしれない。

○上村

○上村

古く先生を交代させ人事滞留を改めるといふこともあるだろうが軍事教練に熱心でない先生を交代させる意味合いもあったかもしれない。これらのことで生徒が時の教頭を会議室に呼び出したという事件も起こった。でも不思議とお咎めはなかった。

○上村

○上村

○伊佐
全校慨嘆などはそのころからあったでしょうか。

○今湊
大概嘆があった。夕方生徒は閑屋浜に集められ上級生から気合を入れられた(ピンタ)

○白井
私は卓球部に所属していたが卓球が軟弱に思われたのか浜で往復ピンタを相当やられた。

○上村
3年生のとき廃部となりその後には戦場競技部に入った。毎日武装を担いで走らされた。

○司会
軍事教練の盛んの中でも職業軍人になろうという人が少なかつたのはなぜですか。

○今湊
やはり新潟は港町商人町という気風があつたからかな。

○白井
ここに当時の少年飛行兵募集のチラシがあります。

(全員見て保存と存在に驚き手にとって見入る。コピーを配布する)

○今湊
昭和18年になると新潟中学でも結構志願する人が出てきた。進学指導も予科練などに志願しないかというようになった。志願者数が少ないと学校に上から圧力がかりました。

○今湊
新潟に医専(海軍の委託機関で軍医の短期養成学校)ができた。

○上村
文科系の学生は昭和18年に兵役猶予がなくなつたが医科系理工系の学生はまだ猶予された。

○今湊
そのためそれらに行く人もいた。なかには軍医として戦死された人もいた。

○白井
先生も戦地に行き臨時教員が増えた。

○村島
戦時中であつたが新潟中学では良い先生がいて英語教育は盛んだつた。港に荷役動員で行つたときに先生は米兵の捕虜と話をして捕虜が笑顔で答えていたのを見た。新潟中学は戦時中いろいろなあつたが本来のリベラリズムを持った教育も少なくなつて行つていた。

○村島
製作目標が困難の時期、新潟

中学だけで瑞雲の全工程を作つたこともありました。

(この件で村島さんと座談会終了後お聞きしました追加の内容を記載します)

○白井
昭和20年になると前年の愛知大地震や相次ぐ空襲で工場全体が意気消沈する中でこれに屈せず今川八束 坂井和夫 細野正三の三君を中心に新潟中学学生だけで瑞雲の全工程を徹夜で敢行し、予定台数を完成させることができた。これは新潟中学のいつまでも誇りにできる功績だと考えています。最終の1991号機には新潟中学製作の銘版が取り付けられたことは本当に名誉でした。

○白井
機体が完成すると川でテスト飛行をした。

○村島
勤労働員にも月給が支給されていきました。昭和20年1月賞与11円20銭で給与は25円くらいでした。普通の職工の半分くらいですかね。

○白井
ほとんどが雑炊食堂に消えていったのでしょね。名古屋では会社の寮(宝神寮)に住んで一部屋5人くらい。新潟に帰ることは通常なく、私は1回だけ

○伊佐
私らのころは地下足袋になつた。教練の時間にゲートル巻き訓練をした。

○今湊
帽子は学帽から戦闘帽になつた。ゲートルの素材は純綿から

帰省2泊したかな。帰りは夜行で帰り、空襲の被害のため途中の大曾根で下ろされ、一日歩いて寮に帰つた。すべてが大変だつた。

○村島
新潟には20年の6月か7月に帰つた。帰つてから終戦となつた。

○伊佐
われわれは新潟に帰る先輩方を迎えに新潟駅まで行きました。

○今湊
ゲートルというのがあつて登下校のときは必ず巻くように訓練された。寒稽古があつたときは早朝道着で訓練に出席し、いったん帰宅後ゲートル巻いて学生服で登校した。

○上村
巻き方が下手だと怒られた。

○今湊
物資がなくなり靴はどうとう鮫皮の靴になつた。水に溶けてまいた。

○伊佐
私らのころは地下足袋になつた。教練の時間にゲートル巻き訓練をした。

○今湊
帽子は学帽から戦闘帽になつた。ゲートルの素材は純綿から

スフになり巻きにくくなつた。戦時中のスタイルだ。

○白井
爆弾で女子学生がやられてトラックで何体もの女子生徒の遺体を乗せてきて埋める作業をさせられた。遺体は相当傷ついており4人組で埋葬したが明日は

名古屋では19年12月に大きな地震があつた。大揺れして工場内に地下水が噴出しともに生産や生活ができなくなつた。空



写真左から 伊佐、今湊、上村、村島、白井の各氏

わが身かと思うといいたたまれな
かった。

○村島

あれはつらかったね。

○今湊

新潟ではグラマンが機銃掃射
をするようになった。高射砲も
応戦するようになった。空襲が
あると勤労員先の機械の下に
隠れたりした。

○伊佐

グラマンがきたのは8月2日
だった。長岡も空襲された。

○司会

名古屋での卒業式はどうでし
たか。

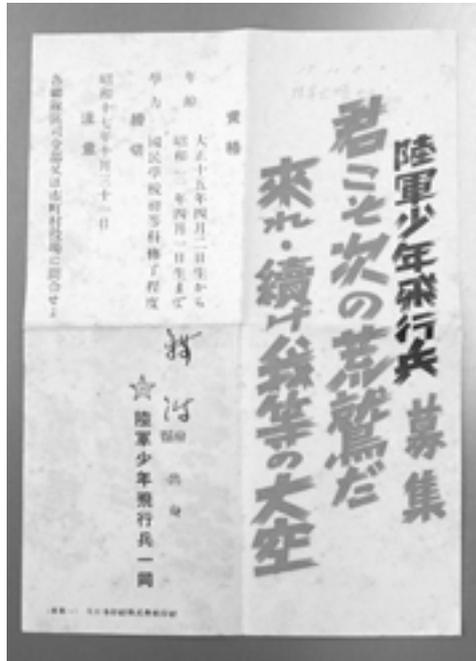
○村島

昭和20年4月3日に磯校長が
きて女子職工寮の空き部屋み
たなどところで卒業式を行った。
今川(八束)さんが証書を代
表でもらった。記念のものな
にもなく、ただそれだけだった。

○白井

我々は4年で卒業となった。
一緒に卒業式をおこなった。
(ここで村島さんが当時の名
古屋勤労動員の記録誌「蒼鷹」
の記載を読みました。)

「母校を遠くはなれた名古屋
の地において我々の卒業式はさ
さやかの中にも厳肅に挙行さ
れた。



我々5年の中学生生活、湧き出
る泉の如く我々の思い出は尽き
ない。父兄に連れられて頬の赤
い中学生が校門をくぐったのも
つい昨日のような気がする。今
この式場に立ちてふと思いをめ
ぐらせば万感こもも身にしま
り、言うべきこともなくただ目
頭が熱くなるのを感じるのみで
ある。中学生生活の最後をこの名
古屋の地において、またひとし
お新たな感慨をもよおすもの
である。この晩は一室につどい
おおいに談論風発、夜ふくるま
で会話は尽きなかった。しかし
やがてどつと上がる歓声ととも
に中学生生活の最後を彩るスト
ムが始まった。若き日の情熱の
はげ口、一切の不平不満も忘れ
てただ熱心に踊り狂う若人の夢

はいつ尽くるともなかった。そ
して記念すべき日は暮れていっ
た。」

○今湊

21年10月頃より学校に予科練
などで出生していた学生が帰っ
てきた。彼らは軍人時代に
配給のタバコなどを始め、学校
にズンギリ(タバコケース)を
腰に下げて登校してきた。

○伊佐

しかし勉強はものすごくやっ
た。旧制高校に多く入学し国立
大学に入った者が多かった。

○伊佐

20年には授業と併せて五本松
の校庭でカボチャ作りをして生
徒の食料の足しにしたりした。
ここではタコツボのような防空
壕作りもやり、勤労動員では万
代島の引込み線のところで高射

砲弾の荷卸などをしていた。

○司会

終戦の放送を聞いたときはど
んなお気持ちでしたか。

○村島

最初は休戦だとおもった。数
日で負けたんだとわかった。

○白井

教育で徹底的に詰め込まれた
ので日本が負けるという考えは
なかった。ただどうしたんだろ
うと思っていた。

○伊佐

在校生は8月の夏休みだった
ので生徒は集められなかったが
覚えてる。

○今湊

終戦後占領軍により武道は禁
止されたので剣道具などを寺に
避難させて保管した。

○村島

武道の復活は割りと早かつ
た。剣道は私塾として斎藤塾が
ありそこで早くから稽古がで
きた。
新潟高校が焼ける前に剣道部
に関する記録や書物を避難させ
ていたので火災にも会わず現存
している。

一同談話

ここで戦中戦後生徒たちに尊
敬された磯幸次郎校長の思い出
話になった。磯校長は戦前から

古がある。彼ら
はとても礼儀正
しいが剣道部員
は人数が少ない。
全校の生徒
全体が剣道部の
ようなしまりが
あるか不安とも
疑問とも思うこ
とがある。青年
としての締りの
ある人間になっ
てもらいたい。

○白井

勉強の連続で
詰め込まれるのも大変だと思
う。ただ社会に出てからは別の
意味もあるのでゆとりを持った
生き方をしてもいいのではと
思う。

○今湊

高校時代は人生の進路を定め
る時期だと思う。大学のことだ
けを考えないで長い人生の先を
考えて有意義な人生に向かって
学習してほしい。

○伊佐

青山健児の伝統を引き継ぎ質
実剛健を身につけてほしい。

○司会

先輩の皆様、大変ありがとうございました。
今も剣道部で先輩との合同稽

○村島

今も剣道部で先輩との合同稽

今も剣道部で先輩との合同稽



「校舎焼失が同窓会活動の礎に」

新潟高校火災から校舎再建までの青山同窓会の寄付金活動について、鍵富春雄さん、早福卓さん、上杉雅之さんの3人にお集まり頂いて、当時の様子を語って頂きました。
(平成22年4月21日青山同窓会事務室にて。)

出席者紹介

- 鍵富春雄さん(46回)
- 早福卓さん(55回)
- 上杉雅之さん(61回)
- 戸松秀雄(67回)
- 石井智裕(79回)
- 坂井奈津子(96回)

火災の様子について

○早福

火災の知らせを聞き、私が新潟高校に駆け付けた時は門が開いていた。そして、瓦から煙が立ち上っているのが見えた。校内はすごく燃えているのに、外からはあまり燃えているように見えなかったんだよね。上から下に火が回っているようだった。

教務室はOBや在校生に教員

発見が遅かったことと数日来の晴天で乾燥した老朽校舎であったことなどから、火の手はたちまち全校舎に燃え広がりました。M5・20鎮火。焼失坪数は約2270坪に上る。損害推定1億円。漏電・放火説も。

(新潟日報より)

私は当時大学生だったので、現場にはいなかったのだけど、火事の話聞いてびっくりして翌日新潟高校に行ってみたら、全く何もなかったです。向こう

の方まで見渡せて。残っていたのは東側の体育館など僅かでした。

○鍵富

ちょうど3年生が修学旅行中で、火事の知らせを聞いて予定を中止して戻ってきたんですよ。留守中に母校が焼けてなくなってしまうって、随分悲しんだそうですね。

復興にむけての動き

○早福

当時、青山倶楽部と言う場所があったね。場所は古町通の萬松堂の2階で、同窓生の社交場のようなものとして利用されていたんです。まあ、もともとは戦後の同級生の消息を尋ねる場として作られたと聞いていますね。この青山倶楽部から校舎再建の寄付金運動が起ったんだ。

校舎再建の動きは早くから始まったよ。火事の後、同窓会がまとめた。青山倶楽部、同窓会幹部、学校側幹部、PTA幹事が集まって復興期成会を結成することを決めましたよ。

○鍵富

校舎焼失の後、当時の磯幸次郎校長が学生たちに火災で2度と悲しい思いをさせたくないとの思いで、県側に鉄筋校舎での再建を要望しましたね。でも、県は木造校舎ならすぐに再建できるが、鉄筋校舎なら再建工事費の半分が地元負担になると言われ、資金調達を早く行う必要に迫られたのが寄付金活動のきっかけですよ。

○上杉

私は学生だったので特に募金活動で寄付金を払ってくれとは言われなかったですね。

○早福

各学年の同窓生でスポーツで活躍した者とか影響力のある人達が呼び集められて、寄付金活動を中心に進めるように頼まれてね。

たしか、同窓生1人1万円の寄付金だったな。月給が5千円の時代なので相当高額な寄付金だよな。

○鍵富

当時まだ若くて給料も安かったから、1万円という寄付金額はかなり高額で大変だったと言

う記憶があります。かなり犠牲をはらったなあ。

○早福

私は同級生の募金を集めに回ったんだけど、家が裕福な人からはたくさん寄付してもらい、サラリーマンは月賦にして払ってもらった。そこまでして寄付金を集めたんですよ。

○上杉

卒業後も言われなかったから、その頃には募金活動が終わっていたのかな。

○戸松

当時の在校生は月3000円集めましたね。3年間で約1万円ですからね。今考えると、これ

○早福

校舎火災当時の同窓会長が長谷川實さん。昭和32年に長谷川さんから、ここに今おられる鍵富さんのお父さんの鍵富清一郎さんに同窓会長が交代しましたね。

以後、鍵富会長が再建運動の



写真左から 早福、鍵富、上杉の各氏

中心として活躍されたんですね。

○鍵富

私は火事の半年後に東京転動になったから、父の寄付金集めで苦労している姿をずっと見ていたわけではないんですよ。

ただ、月に1回は東京に寄付金活動で来ていましたね。東京

青山同窓会に顔を出したり、新潟県出身の大手企業や景気の良い会社を回って寄付金をお願いに行っていたみたいです。

○上杉

鍵富同窓会長は若者に人気で矜持のある人でした。若々しくて年寄り扱いをされることを嫌っていましたね。私が同窓会の校内幹事で東京青山同窓会にご一緒する時など、鍵富会長の荷物を持つとすると、大丈夫だと断られましたからね。いつもにこにこしていて、そのお人柄のおかげで募金もずいぶん集まったんでしょうね。

○早福

募金活動の合間に新潟高校の様子を見に行くと、学生たちがプレハブ校舎で勉強していたね。それも今と違ってベニヤとトタンで作ってあって、屋根は米俵の藁を広げてのせていましたからね。夏など相当暑かった

でしょうね。教室の数も足りないもので、3年生は毎日来ていたけど、1、2年生は交代で勉強していましたね。そんな環境で勉強をしている学生の姿を見ると気の毒に思っ、早く校舎を建ててあげたいという気持ちが高まったな。

○戸松

私は当時の学生だったのでプレハブ校舎で勉強しました。壁も薄いので隣の教室の授業の音が聞こえてきて、名物先生の面白い授業を隣でしていると、自分のクラスの授業そっちのけで聞き入ったりしたものです。

○鍵富

各期の資金集めでよくやったなど感心したのが49回卒が行った色紙展です。デパートで開催された色紙展は、かなり有名な色紙があつて、その売上金を復興資金に充てたらしいです。

○早福

湯川秀樹の色紙とかあつたそうですね。一般市民も買いに来て随分盛況だったらしいね。

○上杉

私は先ほども話しましたが、当時学生で同窓会からの寄付金の依頼はなかつたのですが、復興資金集めが目的の演劇の公演があつたので、案内をもらって入場料を払って見に行ったりしました。なかなか素晴らしいという記憶があります。当時、役者取りの人がいっぱいいて演劇も盛んだったんだよ。そういう連中が結束したんじゃないかな? こういう公演もいくつかあつたみたいです。

—資金集めについて

○鍵富

青山同窓会以外にも、母の会、PTA、卒業生の有志などそれぞれが思いつく方法で寄付金活動をしていたようです。有名なのが母の会です。在校生の母が集まって、校内でパンや牛乳を売った収益金や、青陵祭でのバザーや来客者の自転車管理して集めたお金で校舎復興の

○早福

資金作りをしていたそうです。青山俱樂部に勤めていたことがきっかけで、その後半世紀にわたって青山同窓会事務局員をされた岩田はす枝さんは、同窓会寄付金活動及び母の会を支えてくれていたので、ご存命中にもつと当時の話を聞いておけばよかつたかと悔やまれますね。

○早福

このような資金集めの活動の甲斐あって、火災翌年の昭和30年4月に新校舎の起工式が行われて、良かつたと思つたね。

○上杉

ただ、集まつた寄付金を県に寄贈する贈呈式などは行われたとは聞いていないなあ。



はなかつたみたいだな。

○鍵富

同窓会の各学年や、PTA、母の会など各団体がそれぞれ復興の強い願いで募金活動を行ったのが、それがかえってよかつたのかもしれないですね。

○早福

とにかく募金活動を通して同窓会の結束が固くなつたのは間違いないだろうね。

○上杉

新潟高校焼失前に行われた60周年記念事業は、新校歌(現新潟高校校歌)を発表することが主な事業で、同窓会への寄付金の依頼はなかつたからね。

○司会

いえいえ、先輩方同窓生の熱い思いで再建した新潟高校の鉄筋校舎も現在の新校舎に建て直されましたから、昭和29年に校舎が火事で焼けて無くなつたという事も知らない卒業生も多くなつていいると思います。この座談会がきっかけで、新潟高校の歴史を見つめ直し、また、火災にまつわるエピソードや資料をお持ちの方が出てくると思います。本日は、長時間にわたって当時の貴重なお話を聞かせて下さりありがとうございます。

—校舎再建へ

○早福

当時の資料でも取つてあつたら、もつと詳しく校舎火災にまつわる話が出来たのに、年月も経っているし、私が覚えていない範囲の話ばかりで具体的でないように残念です。

○上杉

新潟高校再建後、いくつかの周年記念行事が行われて、その都度、青山同窓会では寄付金活動をして立派な周年行事を行いました。これも、校舎再建の寄付金活動で同窓生の結束が固まったから行えているようなものですよ。毎年恒例の青山同窓会総会の出席も大勢の人が参加してくれるようになりましたね。

○早福

私もその後の周年事業の寄付金をしてきたけれど、特に青陵健児の像(昭和43年7月完成)を作ってくれたのはうれしかったです。

○早福

た。復興資金集めの活動は本当に大変だったけど、この像を見て努力が報われた感じがしました。確実に伝統は引き継がれていく、後輩たちも我々と同じ気持ちでいるのだ、青陵健児の意気込みが残っている、と嬉しかった。

○鍵富

当時の資料でも取つてあつたら、もつと詳しく校舎火災にまつわる話が出来たのに、年月も経っているし、私が覚えていない範囲の話ばかりで具体的でないように残念です。

教育実習に参加して

実習一週間めの感想

恩田 南 (115回)

新潟高校に、英語の教育実習生として四年ぶりに帰ってきた。一週間を終え、実習は想像をはるかに超えた、濃いものとなっている。

まず、生徒のまぶしき。高校生は、目の前のことに、ひたむきでまっすぐです。その姿が周囲の大人にこんなにもパワーを与えてくれるなんて、自分が高校生するときには気づきませんでした。教壇から、そして県総体のギャラリーから見た生徒たちは、まぶしいくらいキラキラしていました。「君たちには無限の可能性がある」という先生の言葉が、今なら分かる気がします。

次に、英語科の先生方の情熱。正直これには驚かされました。一回一回の授業が勝負、教科書を穴があくまで読み込むという姿勢には、感服しました。それぞれの先生が、それぞれ目標やこだわりを持っていて、お互いに高めあっています。英語教師であることに誇りを持つ先生方は、社会人としてもかっこいいです。最後に、旧担任、副担任の先生方の温かさ。昨日、「旧三学

実習を終えて

今井 明香 (106回)

年担任同窓会」という名の教育実習生激励会を開いていただき、ありがとうございました。これまでの実習期間、「先生」にならなくてはと背伸びをして、気を張っていた私たちにとって、ほっとできる空間でした。先生たちの前では、い

感動にあふれた2週間でした。青陵祭や部活動と勉強を両立させ、何にでも真剣に取り組む生徒たちに対して実習授業を行うという機会に恵まれたことは、私にとつて大きな財産となりました。

昨年、教育実習の事前説明会で久しぶりに新潟高校へ来たときは、自分の知らない新校舎に、正直、母校であるという実感があまりわきませんでした。しかし、実習が始まり先生方から指導を受け、生徒たちの様子を見たり、彼らと話をしたりしているうちにじわじわと懐かしい日々の記憶が蘇ってきました。校舎が新しくなっても、その中にいる生徒や先生方と過ごす中

つまでも生徒でいいんだと安心でき、青陵祭までのあと一週間を頑張る力をいただきました。教育実習は、社会人である先生方に交じり、生の教育現場を感じられる、大変貴重な経験です。時間も労力もかかる実習を支えてくださる先生方、生徒、その他のみなさんに感謝し、今回の出会いがみんなにとつてプラスになるような、そんな教育実習にしたいです。

やはり懐かしく感じさせてくれる場面が多くあり、新潟高校出身であるということにあらためて誇りを持ちました。授業をする中で求められるレベルはとも高く、先生方からも生徒からも厳しい試練を頂いたと思います。その試練の中で、自分の後輩たちのために少しでも学びの多い充実した授業をしようと必死に取り組んだ日々は、私にたくさんの感動と動機付けを与えてくれました。2週間を終え、今充実感でいっぱいです。

実習中の指導教官の先生や他の先生方には熱心であたたかいご指導を頂きました。最初は、授業をするにあたって求められるレベルが高過ぎるような気が

同期会報告

「68回生卒業50周年記念祝」白根大凧合戦に参戦

田中 宣男 (68回)

して自分にはできるわけがないと思ってしまうこともあり、しかし先生方のご指導のもと、授業見学や授業実習を行ったり、授業後の振り返りのご指導を頂いたりするにつれてだんだんと目の前の道が開けてくるように感じました。先生方が常に私に目標と道標を与えて下さり、生徒が真剣に学ぶ姿に励まされ続けたからだと思います。母校である新潟高校で教育実習ができたことにも感謝しています。夢に向かってこれからも鍛錬を続けていきたいと思っています。

平成22年6月3〜7日「白根大凧合戦」が行われました。その合戦に68回生卒業50周年記念イベントとして六角形凧を製作し参戦致しました。今回のイベントは白根凧合戦 6月3日のパレードから参加



「68回生卒業50周年記念パーティ」と「青山68会展-PARTⅦ」のお知らせ

「卒業記念パーティ」 (日時) 平成 22 年 9 月 12 日 (日) 午後 1 時～ (場所) イタリア軒
「青山 68 会展」 (日時) 平成 22 年 9 月 9 日 (木) ～ 13 日 (月) (場所) NST ギャラリー
新潟市中央区八千代 2-3-1

* 詳細は「青山 68 会」ホームページをご覧ください <http://www.kitamurass.co.jp/aoyama68>

し、6月4日、快晴の青空に見事な青山68会風が初夏の爽やかな風をうけ果敢に戦い大いに盛り上がりました。

我々68回生は卒業30周年には新潟日報に一面広告「よみがえれグミ原の浜辺」と呼びかけ青海浜公園にグミの苗を植樹し大きな話題になりました。

また40周年では新築間もない

新潟高校の講堂で「記念シンポジウム」同期生医師諸君によるアドバイスを開催し、今野公和君の名司会で「還暦前の熟年に忍び寄る老化現象への対処方法」を皆で学びました。

今回の50周年は「風合戦参戦」に続き9月12日(日)イタリヤ軒での記念パーティで全てのイベントを終了致します。

96期同期会10年ぶりに開催

幹事 入田 康夫 (96回)

平成22年1月2日(土)会場を新潟グランドホテルにおきまして、第2回青山96期(1988年卒業)同窓会を開催いたしました。

当日は前回(2000年)の学年同窓会から10年が経っていたことや、今年は40歳の大会になってしまっ、そろそろ壮年として故郷の懐かしさも手伝わったのか、総勢90名の多数の参加となり大変盛大な開催となりました。

感慨にふけりました。会のほうは、まずは来賓祝辞として高木先生より96期開催の祝辞をいただいた後、横瀬先生の乾杯で宴ははじまりました。

卒業から20年以上たっていることもあり、中には名札を見てはじめて、高校時代の親友だったことに気づいてみたり、逆に高校時代はほとんど喋ったことのない同級生が、意気投合している様子も伺え大変有意義なものでありました。

半年ほど前から、前回の幹事の方々を中心にクラスの友達、部活仲間にも多数声かけしていただき本当にありがとうございました。

当日はご来賓として、8名の恩師のご出席も頂き、先生方の当時とかわらない口ぶりにみな

ご参加くださった先生方 伊藤 敏 先生 山中 直樹 先生 高木 睦弘 先生 横瀬 功 先生 中野 則雄 先生 土屋 信之 先生 広野 樹 先生 宮田新太郎 先生



私の楽しみ



始めて2名の卒業生が誕生した昭和34年に入學、あれから51年の月日が過ぎました。主人と金物店をやりながら出産、子育ても一段落、子供2人も結婚し家を離れたのを機に、仕事や趣味、ボランティアと充実した日を送っています。

今、私の住む葛飾区では、65才以上の人が5人に1人、私もその仲間入りしました。仕事をしながら、ヘルパーや調理師の資格を取得し、その資格を生かして現在デイサービスセンターで週2日、調理の仕事をしています。この仕事をするキツカケは、親の介護に悔いが残った為、いつか人の役に立ちたいとの思いからです。今迄立派に活躍されながらも、年齢や病に勝てず、デイサービスを利用される方が多くいらっしゃいます。皆さんデイサービスに通い

関川 久子 (通6回)

入浴、リハビリ、食事等を楽しまれています。私は調理担当として、皆様に楽しめる食事を提供出来る様、食事は消化吸収が良いだけでなく旬の食材を用い、季節感も大切に、味、香りにも気を付けて人生の先輩に満足して頂ける様日々努力しています。また、日本を支える若い方に少しでも力になれる様、更生保護活動に参加しています。葛飾区の更生保護婦人会は会員500名、更生保護施設の訪問、犯罪予防、子育て支援を行っています。特に子育て支援では、育児に悩む若い母親の力になれる様、公共の子育て支援センターで、子守や、相談をやっています。そして仕事だけでなく、今はグラウンド・ゴルフを楽しんでいます。

卒業して46年、商売、子育ても終り、充実した日々を送っています。この充実した日々は、在学中、親身に御指導下さった恩師や、一緒に学んだ皆さんと新潟高校通信制を無事卒業出来た事による自信、努力する事の大切さによるものが大きく、今の自分をささえています。この経験を大切に、今後の生活に生かしたいと思っています。

特別寄稿

43年目の挨拶

木村 修 (75回)

同級生の皆さん。月並みな言葉しか出て参りませんが、「本当にお久しぶりです」。75回1年2組(斎藤先生)、2年5組(渡辺先生)、3年3組(松田先生)に在籍しました木村 修です。関西での生活がいつしか43年目になり、信濃川の水の倍を超す、

琵琶湖・淀川の水を飲んですごしてまいりました。青山七五会の皆様には、毎年往復葉書きのご案内をいただきながら、『欠席』の二文字を届けるお付き合いしかできなかったこと、心苦しく思えばかりです。全く突然ですが、今年以下のような奇遇・ご厚意を頼りに『出席』の返信を出させていただき、皆様にお願いがあがろうと思ひ、筆



を執っているところです。

途中経過を全く省かせていただきます。今、ビデオカメラを片手に、五十の手習いで傍から見たら危っかしい手つきで映像編集をしております。レンズの向こうは、アメリカの平和運動に参加する人々。9・11事件以降ですが30分ものの短篇が20本ほど手元にたまるようになり、ました。とりわけここ2年ほど

は、一度は米軍兵士として従軍しながら、今は平和運動に参加している青年たち（イラク帰還兵）を取材して来ました。昨年（3月）には彼らとの繋がりにから占領地・イラクを再訪する機会にも恵まれました。そしてかれこれ撮りためたものを一時間もののドキュメンタリとして（立ち上がるイラク帰還兵）としてまとめたところ、大阪・第七芸術劇場での上映が実現し、また、同劇場より新潟の映画館シネ・ウインド齋藤正行代表を紹介いただき、ご挨拶にあがったところ同氏が青山の一年後輩にあたるという、全く予想をこえた展開に驚き、励まされ続けて今日にいたりました。

かくして、青山七五会同窓会に卒業後初めて出席させていた新潟国体・新潟大地震のあの頃、同じ学舎で青春の日々をおくった同窓生の皆さん、そしてご友人の方々に、ご覧いただきご批評の言葉を交わすことができれば望外の喜びです。末尾にこの機会を与えてくださいました齋藤氏、快く紹介の労をとってくださいました富山氏に心から御礼申上げます。

だこうと予定を決めました。出席させていただき、お世話になった先生方、同窓の皆さんにお願いに上がるつもりです。小編ではありますが、イラク戦争に誤りを知った青年とイラクの人々との再会を記録いたしました。戦争を越えていく、同じ痛みを分かち合う人間と人間のきずなを私なりにまとめたものです。

青陵健児 大越健介君

池端 哲 (60回)

今やNHK夜9時の報道番組のメイン・キャスターの彼を「君呼ばわり」とは甚だ失礼なことだが、「高校の大先輩？の誼」とお許し願いたい。

遠い過去の話だが、1970年代の半ばころ、高校同期で、当時母校で英語を教えていた上

だ。この強肩キャッチャーが大越健介君だった。2年になると彼はピッチャーに転じた。強肩の速球でインサイドワークに優れていた。それから彼の活躍ぶりは見事なもので、県高校球界では新潟高校に大越投手ありで鳴らした。

野球好きの私は母校の出場試合は殆んど欠かさずに見に行つたものだ。彼が2年生の秋の県大会の決勝戦は、鳥屋野球場で、相手は長岡商業であったと思うが、9回表まで1点リードであったが、夕闇が迫っていた、その裏、逆転でさよなら負けを喫してしまつた。勝つていれば、多分翌年春の選抜行きだったのに、惜しかった。

大越投手3年の夏、甲子園に向けて、県大会に進んだ母校は緒戦に長岡高校と対した。会社をスキップして悠久山球場まで見に行つた。昭和26年夏の信越大会で、戦後初めて長野県勢（野高校）を破つた同期の元野球部一塁手の阿部達平君と一緒に応援した。

この試合が事実上の決勝戦などと言われていた相手の長岡高校には、春の県大会では余裕を持って勝つていた。

なぜかこの日は大越投手、打球に普段の切れがなく、打ち込まれて大敗してしまつた。「もう野球はやめます。泣きながら語つた大越投手」と当時の新潟日報は報じた。

1980年代に東京へ転勤した私は、たまにはと初めて神宮球場に六大学野球を見に行つた。丁度立教と東大の試合の日で、グラウンドを見るとなんと「もう野球はやめます」と言つた大越君が東大側グラウンドでキャッチボールをやっている

昨秋の「青山OB会」コンペの表彰式の折、たまたま68回と69回が隣り合わせに座り、優勝を巡って盛り上がり（68回が優勝でした）対抗戦をやるうと言ふことになりました。それを聞きつけた67回も仲間に入れてと……

と言うわけで田中宣男(68回)先輩のご苦勞の結果、5月21日(金)「紫雲ゴルフクラブ」加治川コースにて開催されました。冬と夏を行つたり来たり定まらないお天気が続いておりましたが、「行いの良い人」ばかり集まつたせいか絶好のゴルフ

「青山789回」トピク

岡田 尚子 (69回)

はないか。スタンド最前列の私と大越君の目が心なしか合ったような気がした。国立高校出身の市川投手と共に東大のエース格になった大越君の試合はテレビ放映の時には必ず見たものだ。確か「早稲田キラ」の偉名を貰つたと記憶する。それからのことは、もう小学生などの語るべき出番ではない。好漢、益々達者で活躍を祈るものである。

日和。3期混合の組み合わせでスタートしてゆきました。『ほめ殺し』をしたり『ミスショット』を笑つたり。ゴルフは結果は置いといて、楽しい仲間と和気藹々一日過ごせるのが一番。時折混じる新潟弁も心地よく（私は東京在住）先輩たちと楽しいラウンドをさせていただきました。今回は東京・新潟と4組・15名の参加でした。69回はもちろん少数精鋭で華之輪（えつ！）枯れかかっている？添えて4名。68回7名・67回4名。優勝は69回でした。バンザイ！

OB会報告

平成22年度青山野球倶楽部
総会兼新入会員歓迎会

事務局 白井 行雄 (79回)

3月23日(火)18時30分より、恒例の総会兼新入会員歓迎会が、新潟駅前クオリスビル5階「信濃川」で開催されました。参加者は、高校側から佐久間俊監督、齋藤剛部長、間健太郎先生、OB会員21名、新入会員13名の総勢37名でした。

湯浅会長からは「82回全国選抜高校野球大会21世紀杯にエントリーされましたが、1月29日の選考の結果、誠に残念ながら補欠校となりました。しかしながら、短い練習時間にもかかわらず文武を両立し、春夏の県大会8強入り、甲子園準優勝校・日本文理高校を破つての秋の決勝進出、28年ぶりの秋季北信越大会出場という素晴らしい成績は、我々OBに夢を与えてくれました。後輩選手たちが甲子園まであと少し、と手が届くところまで来たのは、先輩である新入会員の皆さんの活躍があったからだと思えます。県内最難関校である新潟高校に入学し、更に皆で一つの目標に向かって野球を3年間続けてこられたことに敬意を表します。今後は青山

組構成は、新潟出身だからその編集だとの裏話、東大野球部時代に甲子園で投げた日米学生野球代表の思い出、そして野球部員としての勉強方法等、多岐にわたる内容でした。

下馬評では「21世紀杯」の本命でしたので、1月30日に予定した「甲子園出場支援臨時総会」が「残念会」になっても、40名を越すOB会員が出席し、

全員が「今度こそは…」と支援の声をかけてくれ、新潟高校野球部員OBの裾野の広さと力強さを感じました。

平成22年度事業計画案について審議が行われ、第35回県高校OB野球大会(8月13日、14日 鳥屋運動公園野球場、ハードオフエコスタジアム)に今年も参加、8月15日(日)に第34回青山葦原定期戦を小針球場で実施することとしました。



春季県大会ではベスト8に進出していきますので、夏の大会を大いに期待したいと思います。

菅川健太主将をはじめとする新会員からは、「現役時代に受けた先輩方の物心両面の支援に感謝いたします。これからは青山野球倶楽部と現役選手を支えたいと思います。」という謝辞と決意が述べられ、最後に全員で「丈夫」を歌い、散会しました。

剣道部OB会
平成21年度の活動報告

青山剣友会 事務局代表
町田 一越 (95回)

1. 総会 平成21年8月15日午後5時からイタリア軒で開催されました。議事終了後の懇親会では、青山同窓会から長谷川義明会長(61回)にご参加いただき、ご挨拶を頂戴しました。関崎睦男顧問(45回)の乾杯の音頭で開宴、若くは大学院生から、10数年来という久しぶりの参加者もあり、総勢26名の少人数でしたが美味しい生ビールを酌み交わしながら和やかに親交を深めることができました。剣友会応援団長の宗村信明氏(88回)の応援指導で母校発展の願いを込めた「丈夫」の合唱で、盛会のうちに締めとなりました。また同日午前中、OB・母校現役剣道部員による合同稽古が新潟高校剣道場で行われました。例年に比べ涼しいとはいえず、

真夏の1時間、たつぷりと汗をかきました。大先輩から大学生、地元剣道教室所属の小学生まで総勢62名、いつもながら幅広く参加があり気合いの入った稽古が繰り返されました。

2. 新年会 1月2日、平成22年新年会が新潟市のイタリア軒にて開催されました。23名の会員が集い和やかに新年をお祝いしました。村島会長(52回)の挨拶では、平成21年の新潟国体及び秋の諸大会での会員活躍の披露がありました。母校監督就任3年目となった望月雅之先生からの母校剣道部近況報告で、OBの支援と活躍が後輩の励みになっている旨お話しがありました。また徐々に結果を出し始めている母校部員の活躍に頼もしさと期待を感じました。



続く懇親会は、吉田副会長(79回)の乾杯で開宴しました。恒例のアトラクション・ビンゴ大会「新年初当たり」で豪華景品が参加者全員に振る舞われました。今回も全員から一言スピーチがあり、盛り上がりました。宗村応援団長(88回)の応援指導で母校発展の願いを込めた「丈夫」を合唱した後、上田茂氏(75回)からドイツ語で「終

わりよければ全てよし」と締めくくり、盛会の内にお開きとなりました(が全員で2次会へと進みました)。同日午前中に母校新道場で行われた新年初稽古会は、総勢51名の現役生・OBが参加しました。気合いと熱気で寒さを吹き飛ばす、充実した稽古が行われました。

3. 母校剣道部とOBの合同稽古会 毎月1回、新潟高校剣道場にて現役生・OBを始め一般の参加で実施しております。21年度は4月18日、5月30日、7月20日、8月15日、9月5日、10月11日、11月14日、12月19日、1月2日、2月14日、3月20日に実施致しました。特に盛夏の8月15日は62名、新年1月2日は51名が参加し、活気が溢れる、充実した稽古となりました。

4. 会員の活躍
第49回新潟県実業団剣道大会(平成21年11月23日)で、荻莊則幸副会長(83回)が個人戦50歳代の部に出場し優勝、見事3連覇を成し遂げました。同40歳代の部で荻莊誠氏(87回)が3位入賞、同女子の部で山際沙緒理さん(111回)が3位入賞を果たしました。第45回新潟市民体育祭剣道大会(平成21年10月12日)では一般男子の部で青山剣友会チーム(114回)小林純一・113回曾我太一・112回古川史也・95回町田一越・86回大黒康臣)が3位入賞となりました。第38回建国記念剣道大会(平成22年2月11日)では一般女子の部に青山剣友会チーム(112回加茂万里子・111回山際沙緒理・103回坂上結希)が参戦、ここでも3位入賞を果たしました。09年県展・書道の部で、母校書道講師で剣道場の看板に筆を入れた小川和恵さん(101回)が奨励賞に入賞しました。11月2日から7日までイタリヤ軒地下1階美術サロンで、画家・白鳥十三(75回高橋正氏)の個展が開催されました。

青山艇友会定時総会開催

渡辺 研二 (75回)

青山艇友会の定時総会を平成22年3月13日(土)、新潟市内の柳江苑で開催。青山同窓会から長谷川会長のご出席を賜り、顧問3名にOBを加え総勢17名

の出席でした。県外は東京からの参加がありました。議案審議は佐藤勝弘(65回)艇友会長を議長として進行。活動はOBの範囲だけでなく母校

ボート部の支援も行うことが確認されました。顧問から「現役部員は、三年生3名が卒業すると、二年11名一年11名が進級して残る。新一年の入部次第では大所帯の可能性がある」等の報告がありました。

議案審議終了後は別室にて懇親会を開催し、時間を忘れるほど旧交を温め大いに盛り上がり、恒例の「ますらお」で締めお開きとなりました。

▼出席者17名
同窓会長 長谷川義明(顧問) 西倉直樹(顧問) 畔柳順一(顧問) 丸山和則(58回) 加藤高弘(65回) 佐藤勝弘(68回) 笠原紘洋(72回) 富田省一(75回) 渡辺研二(76回) 大井峰夫(78回) 水沼眞一(80回) 桜井優、佐藤正昭(89回) 神林正浩 森竹聡(96回) 荒井重信、寺島健史

▼活動報告等
▽OB現役懇親会を平成21年7月12日(日)に実施。艇庫に集まり近くの食事処で昼食会。OB・顧問・高校生合計32名でした。

▽艇友会報第31号を9月5日に発行。OBだけでなく顧問および現役に配布しコミュニケーションツールとして活用しております。

▽昨年(2010年)の新潟国体でボート部員たちは大会運営の補助員として力を発揮。するべきことに対し申し分ない行動をしてくださいました。新潟高校の生徒は県内・県外の関係者からの評価がとても高かったと耳に入ってきております。

青山バレーボールクラブの新しい動き

青木 忠信 (83回)

▽インターネット時代に即しホームページをことし1月に開設。無料サーバーを利用し費用を抑えて試験運用です。伝統情報に現役情報も取り入れ、青山同窓会と相互リンクしました。



総会の締めは「ますらお」

最初に、隔年開催の第16回総会を、30名の参加を得て平成21年10月に盛会裏に実施することができましたことを報告いたします。参加された方々はもとより、拙い事務局にご協力いただいた幹事の諸先輩に感謝申し上げます。さて、今回は同窓会報の紙面をお借りして、総会を契機とした当クラブの三つの新しい展開を紹介いたします。

1. 初のOG参加。ここ数年、同窓会報で呼びかけたかいがあり、今総会でOGの初参加が実現しました。参加されたのは、初代女子部員の合田春美様(66回)・品川トヨ子様(同)・西田美代子様(67回)の3名でした。おかげで会合が華やいだ雰囲気となりましたし、今後は後輩たちに参加を呼び掛けたいとのご感想でした。事務局として、次回以降も案内を心がけたいと思っております。

2. 80回代の参加者増。当クラブは、全国大会に参加した61・62回の先輩方が立ち上げたこともあり、以前から総会の参



加者は60回代が大半でした。しかし今回は、インハイ県予選で準優勝した80回の滝沢正規様による勧誘が功を奏して、初参加も含めて7名の80回代からの参加があり、強かった年代の団結力を実感しました。また滝沢先輩には、記念写真の撮影から送付までしていただきました。

3. 総会以外にも活動。総会に続いて、今年1月に有志の新年会が行われました。集まったのは、先に紹介しました80回のレギュラー6名全員を筆頭に、91・92回までの24名でした。

今後、これらの年代がより多く総会に参加するように、事務局として努めていきます。なお東京でその後、別の会合があったとのことですが、現在の隔年開催から、新潟と東京とが毎年交替で総会を開催するのも一考かと思えます。

以上、青山バレーボールクラブです。

「青山バドミントンクラブ」活動報告

渡邊 吉雄 (99回)

去る5月23日、例年同様、新潟東急インに於いて、青山バドミントンクラブ平成22年度総会が行われました。総会では昨年度事業報告や決算報告、そして今年度事業計画、及び予算の審議が行われ、その後懇親会へと続き、総会にもまして白熱した！？議論が交わされました。

事業報告で毎年決まって報告される事業が「総会」、現役の皆さんや顧問の先生方と合同で夏に行う「バーベキュー大会」、そして年末に大先輩である行形亭さんで開かれる「年末の集い」です。いわば当クラブの年中行事ですが、今回はこの中で唯一、現役の皆さんと一緒に「バーベキュー大会」について報告をさせていただきます。

昨年夏夏真っ盛りの8月に、



信濃川やすらぎ堤において開催されました。当日は好天に恵まれバーベキュー日和で、夏の休日を満喫できた1日でした。

我々、自称若手OBはお昼前から火起こしなど、会場セッティングを行い、練習を終えた現役諸君の到着を待ちながら、少しだけお酒を飲んでウォーミングアップをし、現役諸君が到着すると焼肉、焼きそば、トン汁などを一緒に作り、現役とOBがそれぞれ思い思いに話し込んだりと、あつという間に時間が過ぎ、盛会となりました。

私も可能な限りOB会には出席しています。その理由は、現

ソフトテニス部3大行事

永野 順子 (111回)

1. 新潟市春季市民総合体育祭 春季チームマッチ大会

その名の通り、新潟市のソフトテニスクラブの団体戦です。1部から8部に分かれて戦っています。

我が青山クラブは現在5部に所属しています。

高校の頃の大会とは違い、相手にするのは老若男女1年齢も様々。

大学生相手に本気になったり、昔取った杵柄の人に遊ばれたり、とにかく楽しい団体戦です。
2. 新潟市秋季市民総合体育祭 職域クラブ対抗大会

春の大会の秋バージョンですが、こちらは2ダブルス1シングルで行われます。(春は3ダブルス)

ソフトテニスもシングルのルールが改定になってから硬式



テニスと同じコートでシングルのゲームが行われます。しかしこれがきつい。私自身学生の頃シングルスは得意な方では無かったですが、社会人になってするシングルの苦しい

こと。
極力男性にお願いしてま
が、「シングルスを制するも
は勝負を制する！」今年は力
を入れてチーム全体で強化し
たいです。
もちろん秋の部も目標は優
勝です。

3. O B 会

毎年 8 月 14 日に高校のテニ
スコートで行います。
現役生、O B 何チームかに分
かれて団体戦を行います。

全国各地からこの日の為に卒
業生が集まっています。
私は高校生の頃からこの会が
大好きです。
特に関東で大学生活を送って

同窓の本

「新潟白山神社史」

新潟白山神社の第 17 代小林敬
直(現)宮司(78 回)は、戦後
の神社の苦難を打破して「中興
の祖」と讃えられる厳父第 16 代
寛直宮司(49 回)の遺志を継ぎ、
神社の通史編纂再開を決定し
た。そこで、同宮司の要望で先
代の従兄弟で交遊も深かった筆
者が菲才も顧みずその任にあ

いた時、部活が苦しくてソフト
テニスを辞めたいなど思うこと
が何度もありました。
しかし 8 月 14 日に恩師、先輩、
後輩、同期に会うとソフトテニ
スの楽しさを再確認することが
でき、来年のこの日の為にまた
一年頑張ろう、という気持ちに
なれました。感謝感謝です。

日中のテニスの後には美味し
いお酒を交えての懇親会があり
ます。
みんなそれぞれ高校時代の思
い出話に花が咲きます。
先輩から後輩へ伝説は語り継
がれていきます。

とても大切な会なのでぜひ今
後もたくさんの方に参加して頂
きたいと思っています。

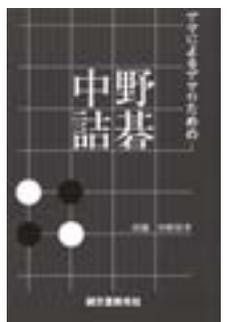
村島 滋 (52 回)

ることになった。
関係資料等の調査では各方面
のお世話になったが、とくに、
幸い郷土史研究の権威で旧友の
植村敏秀氏(現新潟県政記念館
長)(62 回)の全面的協力を得て、
古代白山信仰の誕生に筆を起こ
し、新潟への勧請、神社創建以
降現代に至る神社の通史に別編

今年 2 月、「まちなかの記憶」
という画集を出版致しました。
これは、2000 年頃から私が
新潟の街並みをスケッチし油性
ペンで仕上げた作品約百点を、
画集として一冊にまとめたもの
です。
私は、母が絵を仕事にしてい



今年 2 月、「まちなかの記憶」
という画集を出版致しました。
これは、2000 年頃から私が
新潟の街並みをスケッチし油性
ペンで仕上げた作品約百点を、
画集として一冊にまとめたもの
です。
私は、母が絵を仕事にしてい

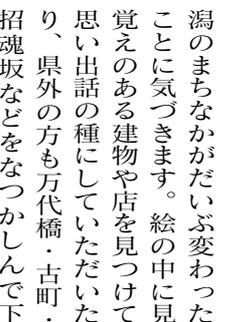


野苺 中詰
野苺 中詰
野苺 中詰

野苺 中詰



(宝亀院蔵)は代表的史料である。
本編では従って古代・中世は
辛うじて傍証で、近世はかなり
的確な史料・文献に依拠するこ
とが出来た。叙述は基本的には
新潟の歴史の変遷と神社との関
わり、とくに市民との心の交わ
りの経緯把握に力点を置いた。
その一環として別章で「小林寛
直宮司」、別編で「白山公園と
新潟市民」、「新潟まつり小史」
を加えた。
(本書は A5 判、662 頁。新
潟白山神社発行非売品、市内図
書館、学校で閲覧可)



私の描いたペン画が、もはや
私だけの思い出ではなく皆さん
の思い出につながっているとい
うことを知り、とてもうれしく
思っています。
画集は新潟美術学園のほか、
新潟市内のジュンク堂書店、萬
松堂書店、北書店で扱っていた
だいております。ぜひ手にとつ
てご覧くださいませようお願
い申し上げます。

アマアマのための中野詰書

「まちなかの記憶」

今年 2 月、「まちなかの記憶」
という画集を出版致しました。
これは、2000 年頃から私が
新潟の街並みをスケッチし油性
ペンで仕上げた作品約百点を、
画集として一冊にまとめたもの
です。
私は、母が絵を仕事にしてい

今年 2 月、「まちなかの記憶」
という画集を出版致しました。
これは、2000 年頃から私が
新潟の街並みをスケッチし油性
ペンで仕上げた作品約百点を、
画集として一冊にまとめたもの
です。
私は、母が絵を仕事にしてい

今年 2 月、「まちなかの記憶」
という画集を出版致しました。
これは、2000 年頃から私が
新潟の街並みをスケッチし油性
ペンで仕上げた作品約百点を、
画集として一冊にまとめたもの
です。
私は、母が絵を仕事にしてい

今年 2 月、「まちなかの記憶」
という画集を出版致しました。
これは、2000 年頃から私が
新潟の街並みをスケッチし油性
ペンで仕上げた作品約百点を、
画集として一冊にまとめたもの
です。
私は、母が絵を仕事にしてい

今年 2 月、「まちなかの記憶」
という画集を出版致しました。
これは、2000 年頃から私が
新潟の街並みをスケッチし油性
ペンで仕上げた作品約百点を、
画集として一冊にまとめたもの
です。
私は、母が絵を仕事にしてい

今年 2 月、「まちなかの記憶」

「アマアマのための中野詰書」
出版のご案内

中野 祥孝 (102 回)

詰書や詰将棋というものは、
週一度くらい雑誌や新聞でお目
にかかりますが、独特のルール
を持った部分問題のことです。
創作詰書集というのは、今まで
に知られていないパターンの問
題を作り出そう、という情熱か
ら生まれる作品です。作るには
ある程度古い作品の知識が必要
です。雑誌・新聞掲載作品をす

詰書や詰将棋というものは、
週一度くらい雑誌や新聞でお目
にかかりますが、独特のルール
を持った部分問題のことです。
創作詰書集というのは、今まで
に知られていないパターンの問
題を作り出そう、という情熱か
ら生まれる作品です。作るには
ある程度古い作品の知識が必要
です。雑誌・新聞掲載作品をす

詰書や詰将棋というものは

母 校 は 今

平成 22 年度 新潟県高等学校総合体育大会等 結果報告

- 1 陸上競技 男子：200 m 第4位 岩橋 直紀 (北信越大会出場)
 400 m 第5位 岩橋 直紀 (北信越大会出場)
 3000 m S C 第6位 山本 聖大 (北信越大会出場)
 走高跳 第2位 岡部 大輝 (北信越大会出場)
 三段跳 第2位 岡部 大輝 (北信越大会出場)
 学校対抗 第6位 フィールドの部 第4位
 女子：800 m 第5位 佐藤 萌 (北信越大会出場)
- 2 バスケットボール 男子：2回戦敗退 女子：2回戦敗退
- 3 サッカー ベスト4
- 4 ラグビー 2回戦敗退
- 5 バレーボール 男子：2回戦敗退 女子：2回戦敗退
- 6 テニス 男子：団体ベスト16
 ダブルス ベスト8 島垣 朔歩・遠藤 寛之
 女子：団体ベスト16
- 7 ソフトテニス 男子：ベスト16 女子：1回戦敗退
- 8 卓球 男子：団体ベスト16 女子：団体ベスト16
- 9 バドミントン 男子：団体4回戦敗退 女子：団体3回戦敗退
- 10 柔道 男子：ベスト16
 個人戦 73kg級 第3位 細野 宏輝 (北信越大会出場)
 女子：予選リーグ敗退
 個人戦 48kg級 第3位 長谷川 琴美 (北信越大会出場)
- 11 剣道 男子：団体予選リーグ敗退 女子：団体予選リーグ敗退
- 12 空手道 男子：団体組手2回戦敗退 女子：団体組手1回戦敗退
 団体形1回戦敗退 団体形1回戦敗退
- 13 弓道 男子：決勝リーグ敗退 女子：団体3位
- 14 フェンシング 男子：学校対抗 第2位
 個人 フルーレ 第5位 牛木 伸行
 エペ 第4位 野島 悠
 サーブル 第1位 坪野 諒介 (北信越・全国大会出場)
 第2位 中村 優志
 女子：学校対抗 第1位 (北信越・全国大会出場)
 個人 フルーレ 第1位 梨本 友美 (北信越・全国大会出場)
 第3位 渡辺 優香
 第4位 藤石 清香
 エペ 第2位 渡辺 優香
 第3位 中田 早香
 第4位 末吉 彩
 サーブル 第1位 梨本 友美 (北信越・全国大会出場)
 第2位 三條 奏子
 第3位 辻 綾香
 第5位 藤石 清香
- 15 ボート 男子：シングルスカル 第2位 橋場 良太 (北信越大会出場)
 第4位 中川 貴斐
 第5位 今田 芳宏
 ダブルスカル 第4位 木村 吉孝・櫻井 悠平
 第5位 山田 恵之・八木 啓俊
 クォドルブル 第3位 内山・清野・小川・渡辺・紫竹
 第4位 菊池・八幡・片山・浅野・白井
 女子：シングルスカル 第2位 山本 瑞希 (北信越大会出場)
 ダブルスカル 第1位 山路 栞・五十嵐彩理 (北信越・全国大会出場)
 第3位 拝野 優佳・高橋 萌子
- 16 山岳 男子：優秀校 (北信越大会出場)
- 17 水泳 男子：200 m 平泳ぎ 第7位 大平 裕真 (北信越大会出場)
 100 m 平泳ぎ 第5位 大平 裕真 (北信越大会出場)
 女子：400 m 個人メドレー 第8位 山賀 幸奈 (北信越大会出場)
 200 m 個人メドレー 第6位 山賀 幸奈 (北信越大会出場)
 200 m 平泳ぎ 第5位 早川 聖那 (北信越大会出場)
 100 m 平泳ぎ 第6位 早川 聖那 (北信越大会出場)
- 18 野球 7月10日～ 開催



平成 22 年度入試結果

進路指導主事 平山 剛

平成 22 年度入試は新型インフルエンザ、不景気の影響で、安全志向と国立大の人気が例年以上に高まった入試となりました。

1 月に実施された大学入試センター試験では数学ⅠA、物理、化学で平均点が大幅に下がったこともあり、理系生徒にとっては不利なセンター試験だったと言えます。しかしこれら 3 つの教科において、昨年度の全国平均点と本校生徒平均点との差よりも今年の方が上回っていました。このことから、本校生徒は全国的にみても、理系教科で力をつけていたということが言えると思います。本校生徒が特に躍進した点について説明します。

① 難関大学（東大、京大、一橋大、東工大、医学科及び旧帝大）の合格者が 80 名となり過去 5 年（75 ↓ 75 ↓ 62 ↓ 71 ↓ 80）の中で最も多くなった。

② 国立公立医学科の現役合格者が 22 名となり過去 5 年（15 ↓ 13 ↓ 10 ↓ 16 ↓ 22）の中で最も多くなった。

私大の医学科を含めると現役で 27 名が医学科に進学した。

① については、学年が一丸となつて生徒指導・学習指導を行ったことと、生徒がこれに応え努力した結果の現れだと思われる。東京大学は過去 5 年で 9 ↓ 10 ↓ 6 ↓ 10 ↓ 4 となり、苦戦しましたが、来年度は再び 2 桁に返すことが課題となります。進学率は昨年度 76.0 から 68.6 に下がりましたが、上記①及び②の大学に果敢に挑戦した生徒が多かったことが原因と考えられます。この結果、浪人する生徒が昨年よりも増えましたが、自分の目標を簡単にあきらめないという高い志の現れと理解し、今後も手紙などを通じて激励していくつもりです。

② の医学部医学科で合格者が増えた要因は、初の理数科 2 クラスの卒業学年であったこと、メデイカルコース（医療系希望者コース）での学習、講演会、大学訪問を通じて絶えず動機づけがなされたことが考えられます。

更に医学科の場合、全国的な医師確保対策により定員増であったことや、推薦入試の積極

的利用、また全国展開や、適切な出願により合格者数が増えました。新潟大学を始め、東大、北大、東北大、大阪大等の旧帝大の医学科で合格者が出たということも特筆すべきことだと思います。今後は医学科現役 30 名の合格者を出すのが具体的な目標になります。

（最後に）今年度は理系の生徒の躍進が見られました。一方、文系生徒も東大、一橋大等で合格者を出しましたが、堅実な出願をし、有名私大等も含めて現役合格にこだわった生徒も多くみられます。

した。今後は文系生徒への強い動機づけと、高い志を維持させることが大きな課題であると感じています。具体的には国立合格 250 名、現役進学率 80% ということとなります。

現 3 年生から全県 1 学区となり、新潟県全域から本校を受験できるようにになりました。多様な生徒が本校で学び、勉強と部活動で切磋琢磨しています。自らの判断で行動し、率先して学び、将来社会に貢献する卒業生を輩出すべく、本校の進路指導は今後も努力して参ります。ご支援をよろしく願います。

主な大学合格者数（現役合格者延べ数）

| 年度 | 国公立大 | | | | |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 平成 18 年 | 平成 19 年 | 平成 20 年 | 平成 21 年 | 平成 22 年 |
| 卒業生数 | 400 | 388 | 391 | 354 | 350 |
| 北海道大 | 15 | 15 | 10 | 9 | 11 |
| 旭川医科 | 1 | 5 | 0 | | |
| 東北大 | 24 | 22 | 28 | 24 | 29 |
| 秋田大 | 4 | 3 | 1 | | 0 |
| 山形大 | 3 | 0 | 2 | 2 | 3 |
| 筑波大 | 13 | 5 | 4 | 7 | 8 |
| 埼玉大 | 4 | 4 | 1 | 1 | 1 |
| 千葉大 | 13 | 8 | 7 | 10 | 6 |
| 東京大 | 9 | 10 | 6 | 10 | 4 |
| 東京外語大 | 3 | 1 | 5 | 3 | 2 |
| 東京学芸大 | 9 | 2 | 8 | 6 | 8 |
| 東京工業大 | 2 | 4 | 3 | 2 | 4 |
| 東京農工大 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 |
| お茶女子大 | 6 | 2 | 0 | 5 | 1 |
| 電気通信大 | | 0 | 1 | 2 | 0 |
| 一橋大 | 3 | 1 | 2 | 3 | 5 |
| 横浜国立大 | 8 | 7 | 4 | 9 | 1 |
| 新潟大 | 73 | 69 | 84 | 65 | 50 |
| 長岡技科大 | 0 | | 1 | | |
| 富山大 | 1 | 2 | 3 | 2 | 1 |
| 金沢大 | 7 | 5 | 9 | 7 | 4 |
| 信州大 | 2 | 0 | 1 | 3 | 4 |
| 静岡大 | 1 | 1 | 0 | | |
| 名古屋大 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 京都大 | 5 | 6 | 4 | 3 | 6 |
| 大阪大 | 2 | 5 | 1 | 3 | 3 |
| 神戸大 | 1 | 3 | 1 | 2 | 1 |
| 九州大 | 1 | 1 | | | |
| 首都大東京 | 3 | 4 | 4 | 3 | 4 |
| 横浜市立大 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 新潟県立大 | | | | 7 | 6 |
| 静岡県立大 | 1 | 2 | | 1 | 0 |
| 大阪府立大 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| 大阪市立大 | 2 | | 1 | 1 | |
| その他 | 14 | 14 | 17 | 12 | 9 |
| 合計 | 233 | 206 | 213 | 207 | 176 |

| 年度 | 私立大 | | | | |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 平成 18 年 | 平成 19 年 | 平成 20 年 | 平成 21 年 | 平成 22 年 |
| 卒業生数 | 400 | 388 | 391 | 354 | 350 |
| 早稲田大 | 41 | 32 | 34 | 40 | 28 |
| 慶応大 | 18 | 10 | 15 | 13 | 15 |
| 明治大 | 35 | 36 | 48 | 36 | 40 |
| 立教大 | 20 | 22 | 23 | 28 | 15 |
| 法政大 | 21 | 17 | 29 | 31 | 17 |
| 青山学院大 | 9 | 12 | 12 | 12 | 17 |
| 学習院大 | 7 | 4 | 6 | 2 | 2 |
| 北里大 | 6 | 4 | 5 | 11 | 10 |
| 国学院大 | 4 | 6 | 2 | 5 | 2 |
| 国際基督教大 | 2 | | 5 | 3 | 2 |
| 駒沢大 | 9 | 1 | 3 | 3 | 1 |
| 自治医科大 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 上智大 | 5 | 5 | 5 | 8 | 6 |
| 成蹊大 | 4 | 2 | 2 | 5 | 1 |
| 成城大 | 3 | 4 | 4 | 0 | 1 |
| 専修大 | 9 | 2 | 3 | 10 | |
| 玉川大 | 3 | 2 | 5 | | 1 |
| 中央大 | 36 | 30 | 36 | 33 | 22 |
| 津田塾大 | 11 | 6 | 3 | 10 | 5 |
| 東海大 | 5 | 4 | 4 | 3 | |
| 東京農業大 | 5 | 5 | 12 | 4 | 4 |
| 東京理科大 | 21 | 20 | 27 | 20 | 28 |
| 東京薬科大 | 3 | 4 | 1 | | 4 |
| 東京女子大 | 6 | 10 | 5 | 7 | 3 |
| 東邦大 | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 |
| 日本大 | 6 | 7 | 15 | 19 | 8 |
| 日本女子大 | 4 | 9 | 2 | 4 | 2 |
| 明治学院大 | 6 | 7 | 8 | 4 | 3 |
| 文教大 | 7 | 8 | 7 | | |
| 神奈川大 | 6 | 3 | 2 | 0 | |
| 新潟薬科大 | 17 | 15 | 5 | 6 | 9 |
| 同志社大 | 6 | 4 | 4 | 2 | 1 |
| 立命館大 | 12 | 9 | 20 | 7 | 7 |
| 関西学院大 | 4 | 6 | 0 | 1 | 0 |
| その他 | 89 | 55 | 62 | 46 | 50 |
| 合計 | 444 | 362 | 417 | 374 | 305 |

*空白は未受験、○は合格者○

平成 21 年度
(H 21. 4. 1 ~ H 22. 3. 31)
青山同窓会会費納入者
(10月より3月末まで納入のもの)

会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎月お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。
1口 1,000円。できるだけ2口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座
全日制 00650-7-4455 青山同窓会
通信制 00530-1-74207 青山通教部会

全日制
37回S 5年
黒川 武三郎
44回S 12年
早川 廣吉
46回S 14年
本田 富雄
47回S 15年
杉山 弘治
48回S 16年
伊藤 正太郎
吉澤 宏英
49回S 17年
濱 博世
50回S 18年
田中 賢治
原田 敏雄
渡辺 進
51回S 19年
厚地 武
笹川 重男
52回S 20年
能登 彰夫
村山 玄二郎
53回S 20年
小林 茂孝
54回S 21年
寺崎 哲夫
保倉 保興
55回S 22年
千葉 繁治
長谷川 政彦
56回S 23年
上田 宏
小林 隆太郎
高見 久義
57回S 24年
渡辺 好博
58回S 25年
加藤 吉策
神田 勉一
種村 祥一
宮沢 昭
59回S 26年
河野 誠
佐藤 進
竹山 諒一

田辺 治
中野 誠
渡邊 敏男
60回S 27年
坂井 丈夫
富山 和夫
本間 一浩
宗村 健吾
山崎 良一
61回S 28年
赤堀 和郎
佐久間 洋一
佐藤 眞武
助川 孝雄
丸山 通夫
渡辺 和義
62回S 29年
鈴木 勉
鈴木 徳義
滝沢 寿美子
三國 龍彦
63回S 30年
阿部 達
五十嵐 健治
市川 瑞夫
金川 博
小林 章
佐藤 博之
中村 道衛
長津 栄佐子
萩野 一英
平野 恒夫
藤井 洋
村田 正
64回S 31年
池浦 慶次
大倉 孝男
太田 健治
小出 達也
志賀 英雄
清水 裕子
津野 慶浩
早川 周作
66回S 33年
内田 定寛
風間 聰一
福山 忠利

渡辺 喜光
67回S 34年
石田 瑞穂
高野 宏一
高橋 耿平
高橋 信夫
廣瀬 弘
68回S 35年
後藤 林八
齋藤 正果
増子 藤男
69回S 36年
青木 利祐
阿部 正昭
小林 昌二
佐藤 彬
清水 一男
高山 勝次
轟 栄次
70回S 37年
岡田 利邦
小沢 欣治
小幡 清司
斎藤 忠正
土田 紘一
71回S 38年
坂井 征一郎
佐藤 正之
佐藤 禮子
村山 薫進
山下 耕司
山田 耕司
渡辺 尚武
72回S 39年
阿部 史郎
近藤 正子
高橋 悦子
堀川 武子
吉沢 篤子
渡辺 玄弥
73回S 40年
岩永 守登
金山 清彦
小山 昭彦
小野 修一
佐野 要一
田中 光二

樋熊 節子
74回S 41年
大滝 均
大風 悦男
賀谷 正
佐藤 信秋
関川 修一
戸枝 一明
西脇 雄一
広神 俊彦
広瀬 秀
75回S 42年
伊藤 哲夫
岡田 政文
小原 克己
北村 順作
玉木 廣
常山 佐世子
深沢 義和
本間 均
皆川 信
76回S 43年
渡辺 拓
77回S 44年
斉藤 憲
曾我 恒有
高橋 康夫
田中 裕介
長井 健司
生野 勝
長谷川 正
藤崎 克己
藤吉 康志
松澤 義範
渡辺 隆
78回S 45年
今井 高二
大坂 壽男
木村 和夫
佐藤 由紀男
須田 幸子
肥田 博子
福原 等
79回S 46年
石津 進
遠藤 龍介
川合 清司
三保 恵美子

吉田 芳隆
吉成 潤
80回S 47年
太田 啓子
白井 一栄
81回S 48年
笹川 典男
佐藤 弘
松崎 美郎
82回S 49年
大塚 英明
成田 昌稔
渡辺 宣昭
83回S 50年
浅間 芳朗
佐藤 扶
村尾 弘子
森平 淳子
横山 修
84回S 51年
小黒 志津江
85回S 52年
笠原 徹
86回S 53年
小野島 恵次
鈴木 正孝
戸松 茂雄
吉崎 芳明
渡辺 政次
87回S 54年
松本 俊輔
88回S 55年
池田 寛雄
岸 亮子
坪井 望
90回S 57年
佐藤 雄一郎
土屋 亨
村上 恭子
渡辺 栄
92回S 59年
金井 利郎
渡邊 二三枝
93回S 60年
行形 和滋
96回S 63年
中島 正好
橋本 薫

山岸 義晃
89回H 2年
大谷 英之
105回H 9年
川合 健太郎
渡辺 千絵
107回H 11年
真柄 望
通信制
8回S 41年
新井 シン
八木野 初枝
9回S 42年
角田 清宣
松澤 美知子
10回S 43年
今井 明子
12回S 45年
秋間 一男
岡村 清
吉野 久美子
14回S 47年
佐藤 芳子
16回S 49年
古川 とみ
18回S 51年
小林 和昭
20回S 53年
清野 喜美男
山崎 忠治
22回S 55年
松原 俊昭
山口 安治郎
26回S 59年
猪倉 フミ
南雲 トミイ
松柳 幸子
27回S 60年
石川 孝子
28回S 61年
月岡 ミツ子
長谷川 勇
渡辺 ハマ
30回S 63年
大箭 眞壽美
34回H 4年
大橋 万希子

平成 23 年新年会のお知らせ

来年の新年会は平成 23 年
2月17日(木)を予定して
おります。詳細は次号会報
に掲載いたします。

